



激闘! 第34回全日本トライアスロン皆生大会 谷新吾選手、3度目の栄冠

鉄人レース国内発祥の歴史を持つ「第34回全日本トライアスロン皆生大会」が7月20日、鳥取県西部6市町村にて開催され、個人総合でアイレクストライアスロンスクール講師の谷新吾選手(47)が3年ぶり3度目の王座に輝きました。



大会個人の部には874選手、団体(リレー)の部には53チームが出場し、スイム、バイク、ランの順で総延長190.195kmのレースに挑みました。各種目の距離はスイム3km、バイク145km、ラン42.195km。選手らは午前7時に米子市の皆生海岸をスタートし、大山山麓、弓ヶ浜半島を巡ってゴールのどらドラパーク米子陸上競技場までを走りました。

谷新吾選手は、ゴールまで残り3kmの地点で秦陽一郎選手を引き離し、大会3度目の王者に。大会に出場したスクール生11名も全員完走を果たしました。この日、元スクール生の山本英治さんも3位に入り、メジャーレース初入賞で輝かしい成績を残しました。



上位成績	個人総合
1位	谷 新吾 (愛知県) 8時間33分10秒
2位	秦 陽一郎 (大分県) 8時間34分45秒
3位	山本 英治 (愛知県) 8時間40分06秒

谷新吾選手から

ロングディスタンスの大会は、国内でも数えるほどしかないんですけど、中でもこの皆生大会は私が24歳の時に初優勝し、トライアスロンの世界に入るきっかけとなったこともあり非常に思い入れのあるレースなんです。そんな地で3度目のタイトルを得られたことはもう感動以外のなにものでもないですね。今回、スクール生のみなさんは余裕をもって完走されましたし、元スクール生の山本さんも初入賞し、実力を発揮できました。スクール生と一緒に5月の合宿と7月の大会の年2回は訪れていますが、今回は思い出に残る最高の大会になりました。

